

## トルコの金融市場動向 Weekly Report

【2018年1月6日～2018年1月12日までの推移】

### 【1】先週の回顧

先週のトルコ・リラ相場は1週間を通して見ると対米ドルではほぼ横ばいでの推移となった一方、対円では下落しました。またトルコの2年国債金利は上昇しました。

11月の経常収支は市場予想をやや上回る赤字額となったものの、市場への影響は限定的となりました。

また米国が海外安全情報でトルコを渡航の再検討を促す「レベル3」に分類したことを受けて、トルコ外務省は12日（現地、以下同様）にトルコ国民に対して米国への渡航に関する警告を発令しました。

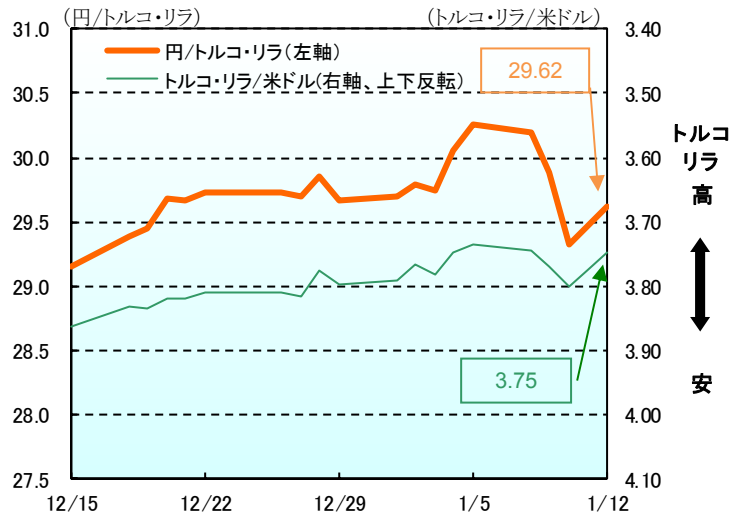
トルコ金融市場では、円高米ドル安の流れが続く中、トルコ・リラは対米ドルではほぼ横ばいでの推移となったものの、対円では下落しました。また債券市場でも特段大きな材料が無い中、2年国債金利は小幅に上昇しました。

### 【2】今週の見通し

今週は金融政策決定会合が予定されています。事前の市場予想では後期流動性貸出金利を含めた主要政策金利は全て据え置かれる見込みとなっています。足元のトルコ・リラが落ち着いた動きを見せていることから、金融政策を据え置き、引き続き金融引き締め姿勢を維持すると考えます。

またエルドアン大統領は14日に、シリアのクルド人勢力PYD（民主連合）が掌握するシリア北西部への軍事作戦を近日中に実施することを示唆しており、地政学リスクの高まりには注意が必要です。

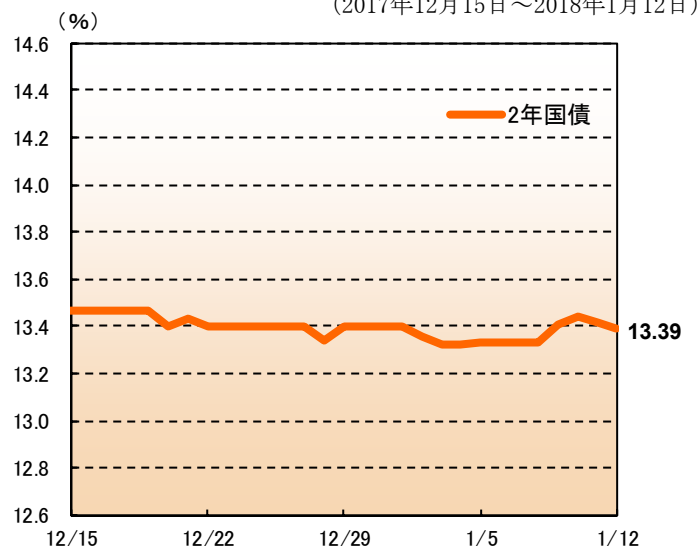
【トルコ・リラ 為替推移】 (2017年12月15日～2018年1月12日)



※四捨五入の関係で数値とグラフの目盛りが一致しない場合があります。

【トルコ 金利推移】

(2017年12月15日～2018年1月12日)



(出所:ブルームバーグより大和投資信託作成)

#### 当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。■当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。■当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。■当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。

販売会社等についてのお問い合わせ⇒大和投資信託 フリーダイヤル 0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>